

平成29年度 事務事業マネジメントシート

事業名	し尿処理施設事務管理事業			会計	款	項	目	大事	小事
政策	02	2節	生活の豊かさを実感できる流山（生活環境の整備）	主管課	クリーンセンター				
施策	2-2	環境共生社会を目指す廃棄物循環型都市づくり		主管課長	糸井 正人				

I 事務事業の目的・内容

事業目的	対象	森のまちエコセンター職員	意図	事務管理の効率化を図る。
事業内容	森のまちエコセンターに係る事務経費を適正に執行する。			
事業開始から現在までの状況変化	し尿処理施設における安定的な稼働に努め、衛生的に処理するための事務を執行している。			

II 事務事業の実績・現状及び成果を表す指標の動きとコストの状況

指標	名称	平成27年度	平成28年度	平成29年度	単位	目標方向	算定式（成果指標の場合）
	①	事業費	2,861	2,747	3,808	千円	→→
②							
③							
④							
⑤							
⑥							

  

指標で表すことができない定性的な成果	目的に対する現状（客観的事実・データに基づく現在の状況や取組状況）		
事務事業のコスト	平成27年度	平成28年度	平成29年度
事務事業の総コスト(a=b+c)	7,722,471	7,298,711	8,282,690
事業費(b)(円)	2,861,471	2,747,211	3,807,690
うち一般財源	2,861,471	2,747,211	3,807,690
職員給与と費(c)(円)	4,861,000	4,551,500	4,475,000
人役・職員(人)	0.50	0.50	0.50
人役・再任用(人)			
人役・臨職(人)	1.00	1.00	1.00
人役・嘱託(人)			
初期投資コスト(円)（建設又は取得年度のみ記入）			
想定耐用年数（年）（建設又は取得年度のみ記入）			

目的に対する現状（客観的事実・データに基づく現在の状況や取組状況）  
 市民からの各種問い合わせに応じるための臨時職員の人件費をはじめ、事務管理に必要な経費を確保している。

III 事務事業の評価、今後の方向性及び業務改善 <※主管課長記入>

(1) 事務事業についての評価及び今後の方向性

個別評価	必要性	今後の必要性	B 必要性は変わらない	有効性	目標達成度	A 達成できた
		市関与の必要性	A 市が担うべき		効率性	対象者の適切性
					コストの削減	B 削減の余地がややある
総合評価	II 継続（事業を現状どおり継続すべき）					

(2) 事務事業の業務改善について

①今年度(H29)の改善計画	コピー代等の削減を図る。	③取組の課題	事務管理を行う上で、経費節減ができる箇所を探る。
②今年度(H29)に実施した取組	不要になった紙を再利用するなど経費の削減を行った。	④今後(H30以降)の改善計画	事務の効率化を図り、スマートに事務管理ができるようにしたい。